

28年度のご案内

総合診療力向上講座(全4回)

【対象】医師

第1回

【テーマ】「Self-limitedな病気を診断すること」
【と き】7月23日(土) 14時30分～16時30分
【ところ】本会場:京都府医師会館 310会議室
北部会場:ホテルマーレたかた(舞鶴市)
南部会場:けいはんなプラザ(相楽郡)
【講師】市立福知山市民病院
研究研修センター長兼総合内科医長・川島 篤志先生

第2回

【テーマ】「日常診療で使う『クスリ』と
日常診療に潜む『リスク』①」
【と き】9月17日(土) 14時30分～16時30分
【ところ】本会場:京都府医師会館 310会議室
北部会場:サンプラザ万助(福知山市)
南部会場:けいはんなプラザ(相楽郡)
【講師】洛和会丸太町病院
救急・総合診療科医長・上田 剛士先生

第3回

【テーマ】「日常診療で使う『クスリ』と
日常診療に潜む『リスク』②」
【と き】11月12日(土) 14時30分～16時30分
【ところ】本会場:京都府医師会館 310会議室
北部会場:ホテルマーレたかた(舞鶴市)
南部会場:石鏡会 田辺中央病院(京田辺市)
【講師】洛和会丸太町病院
救急・総合診療科医長・上田 剛士先生

第4回

【テーマ】「『かかりつけ医』としての要約能力
～プロブレムリストはいくつありますか?～」
【と き】平成29年1月14日(土) 14時30分～16時30分
【ところ】本会場:京都府医師会館 310会議室
北部会場:サンプラザ万助(福知山市)
南部会場:けいはんなプラザ(相楽郡)
【講師】市立福知山市民病院
研究研修センター長兼総合内科医長・川島 篤志先生

北部・南部会場はテレビ会議システムを利用した中継会場となります。

京都在宅医療塾 I ～探究編～ (全4回)

【対象】医師、訪問看護にかかわる看護師

第1回

【テーマ】「在宅医療でのリハビリテーション」
【と き】8月21日(日) 10時00分～13時00分
【ところ】京都府医師会館 310会議室
【講師】東京都リハビリテーション病院
医療福祉連携室室長・堀田 富士子先生

日医かかりつけ医
機能研修制度
研修

第2回

【テーマ】「フレイル・サルコペニアとリハビリテーション栄養」
【と き】10月16日(日) 10時00分～13時00分
【ところ】京都府医師会館 310会議室
【講師】横浜市立大学付属市民総合医療センター
リハビリテーション科診療講師・若林 秀隆先生

第3回

【テーマ】調整中
【と き】12月4日(日) 13時00分～16時00分
【ところ】サンプラザ万助(福知山市)
【講師】梶原診療所 在宅総合ケアセンター長兼病棟医長
オレンジほっとクリニック所長・平原 佐斗司先生

北部
開催!!

第4回

【テーマ】調整中
【と き】平成29年2月19日(日) 10時00分～13時00分
【ところ】京都府医師会館 310会議室
【講師】梶原診療所 在宅総合ケアセンター長兼病棟医長
オレンジほっとクリニック所長・平原 佐斗司先生

生活機能向上研修

【対象】医師、看護職、多職種

排泄支援Part

北部会場

【テーマ】調整中
【と き】11月26日(土) 14時30分～17時30分
【ところ】サンプラザ万助(福知山市)

南部会場

【テーマ】調整中
【と き】平成29年2月25日(土) 14時30分～17時30分
【ところ】京都府医師会館

食支援Part

北部会場

【テーマ】調整中
【と き】10月1日(土) 14時30分～17時30分
【ところ】中丹勤労者福祉会館(福知山市)

南部会場

【テーマ】調整中
【と き】平成29年1月28日(土) 14時30分～17時30分
【ところ】京都府医師会館

順次医報、又は京都府医師会ホームページにてお知らせいたします。

お問い合わせ、ご意見及びご感想は

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター

〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

京都府医師会

在宅医療・地域包括ケア サポートセンター news

Vol.12

2016年7月15日

京都府医師会在宅医療・地域包括ケアサポートセンター
〒604-8585 京都府京都市中京区西ノ京東梅尾町6番地 京都府医師会館3階 tel.075-354-6079 fax.075-354-6074

在宅医療・地域包括ケアサポートセンター news は奇数月15日の発行です。

平成28年度 認知症研修会 一覧

◆ かかりつけ医認知症対応力向上研修会

【対象】医師・多職種

【綾部医師会・福知山医師会】
と き:9月3日(土) 14時00分～17時00分
ところ:京都府立中丹勤労者福祉会館 4階大会議室
講師:京都協立病院 門 祐輔先生 他

【宇治久世医師会】
と き:11月26日(土) 18時00分～21時00分
ところ:宇治市生涯学習センター 2階第3ホール
講師:京都府立洛南病院 森 俊夫先生 他

【下京東部医師会・下京西部医師会】
と き:平成29年1月7日(土) 14時00分～17時00分
ところ:和牛登録会館 2階大会議室
講師:大阪市立弘済院附属病院 中西 亜紀先生 他

【西京医師会】
と き:平成29年1月28日(土) 14時00分～17時00分
ところ:ホテル京都エミナス 明治アニバーサリーホール
講師:塚本医院 塚本 忠司先生 他

【中京東部医師会・中京西部医師会】
と き:平成29年2月4日(土) 14時00分～17時00分
ところ:和牛登録会館 2階大会議室
講師:東近江市永源寺診療所 花戸 貴司先生 他

【相楽医師会】
と き:平成29年2月18日(土) 16時00分～19時00分
ところ:相楽会館 大ホール
講師:山田内科クリニック 山田 悦雄先生 他

日医かかりつけ医機能研修制度〔応用研修〕の対象研修です。(1単位)

◆ かかりつけ医認知症対応力向上研修 集合研修

【対象】医師・多職種

【北部会場(京丹後市)】
と き:11月19日(土) 14時00分～17時00分
ところ:大宮ふれあい工房 大研修室
講師:京都府立医科大学附属病院 成本 迅先生
齊藤医院 齊藤 治人先生

【南部会場(京都市)】
と き:11月5日(土) 14時00分～17時00分
ところ:御所西 京都平安ホテル 白河の間
講師:北山病院 澤田 親男先生
はやし神経内科 林 理之先生

日医かかりつけ医機能研修制度〔応用研修〕の対象研修です。(1単位)

◆ 認知症サポート医 フォローアップ研修

【北部会場(福知山市)】
と き:10月29日(土) 14時00分～17時00分
ところ:ホテルロイヤルヒル福知山
講師:慶應義塾大学医学部精神神経科学教室
教授・三村 将先生 他

【南部会場(京都市)】
と き:平成29年3月11日(土)
16時30分～19時30分
ところ:京都府医師会館 310会議室
講師:国立循環器病研究センター病院 猪原 匡史先生 他

対象
かかりつけ医認
知症対応力向
上研修修了者、
認知症サポート
医、精神科・神
経内科医等

平成28年度 主治医研修会 一覧

◆ 主治医研修会

【内容】①介護保険制度における主治医意見書の記載方法 講師:京都府医師会 介護保険担当理事・藤村 聡
②認知症の周辺症状について 対象 医師

【北部会場(宮津市)】
と き:8月20日(土) 15時00分～18時00分
ところ:ホテル北野屋 2階
ハーモニーホール
講師:京都府立医科大学附属病院
成本 迅先生

【南部会場(京田辺市)】
と き:8月27日(土) 14時30分～17時30分
ところ:京田辺市商工会館 4階
キララホール
講師:はやし神経内科 林 理之先生

【京都市会場(京都市)】
と き:9月10日(土) 14時30分～17時30分
ところ:京都府医師会館
212・213会議室
講師:北山病院 澤田 親男先生

順次医報、又は京都府医師会ホームページにてお知らせいたします。

平成28年度 第1回 京都在宅医療塾Ⅱ ～実践編～ 開催報告



ブース① 背抜き演習1 ブース① 背抜き演習2



ブース② 手羽先を用いたデブリード実習1 ブース② 手羽先を用いたデブリード実習2



ブース③ ドレッシング材演習 質疑応答の様子

5月19日(木)に開催した今年度第1回目の研修会は、高齢者の在宅療養で対応に苦慮することの多い「褥瘡について」をテーマに開催し、27名の方にご参加いただきました。京都桂病院看護科長・皮膚排泄ケア認定看護師・岡田 依子氏より「褥瘡の評価について」をテーマに褥瘡状態判定スケール DESIGN と DESIGN-R について、小川皮フ科医院院長・小川 純己氏より「在宅での褥瘡治療について」をテーマに具体的な褥瘡の状態に合わせた治療について、わかりやすく講義いただきました。

その後、参加者が3グループに分かれブース①褥瘡予防としての「背抜き方法」、ブース②褥瘡の外科的処置「デブリードマン」、ブース③「ドレッシング材の貼り方」を演習しました。

ブース①では、患者体験を行うことでベットギャッジアップ時の「ずれ」による辛さと背抜き実施による褥瘡予防の効果を実感でき、アンケートでは今後の診療に生かしたいとのご意見を複数いただきました。

ブース②では、自治医科大学メディカルシミュレーションセンターの「手羽先を用いたデブリードマン実習」を参考にした演習教材を準備し、講師の説明のあと各自デブリードマンの手技についてリアルな演習が行えました。

ブース③では、業者に協力を得て仙骨部の褥瘡モデルを用いてドレッシング材を使用する上での留意点や、H26年度診療報酬改定による在宅患者への「皮膚欠損創傷被覆材」の保険適用拡大等について説明があり、参加者より多くの質問をいただきました。

褥瘡をテーマにした今回の研修会には、定員を超えてご応募いただき7月21日(木)18時～20時、8月31日(水)14時～16時の日程で、追加開催することとなりました。多くの方にご応募いただきありがとうございました。

平成28年度 第2回 京都在宅医療塾Ⅱ ～実践編～ 開催報告



津田皮フ科医院 院長 津田 達也氏



皮膚排泄ケア認定看護師 京都桂病院 看護科長 岡田 依子氏

日常生活機能及び認知機能の低下がある高齢者在宅療養では、思わぬ外傷への対応が必要な場面や、高齢者のオムツに起因した皮膚トラブルも多いのではないのでしょうか。

6月16日(木)に開催した当研修会は、「よくあるケガ、皮膚疾患を在宅で治す」をテーマに、津田皮フ科医院院長・津田 達也氏より「在宅での外傷の対応」について、京都桂病院看護科長・皮膚排泄ケア認定看護師・岡田 依子氏より「皮膚トラブルの予防と対策」について講義があり、36名の方にご参加いただきました。

まず、津田医師より在宅で多い外傷、皮膚疾患の治療としては、ベストでは無いが限られた医療資源で、出来る限りの治療を行うことを目標とし、市販品や汎用品を使う、状況を悪化させないこと、専門医に紹介すべき状況の判断など、①擦過傷、②切創、③熱傷一を切り口として治療の実際を紹介いただきました。外傷については感染を予防し自然治癒を妨げないことが重要で、消毒は不要であるが、水道水又は生理食塩水による洗浄で異物を除去し、適切なドレッシングを行うことで、早期に回復が図れると説明されました。

岡田看護師からは、特に失禁スキンケアの原則、洗浄剤の種類や撥水剤、軟便漏れを予防するシート、便失禁時のストーマ用粉状皮膚保護剤の使用などについて具体的に紹介いただき、アンケートでも「知らない製品を紹介していただき明日にでも役立ちそうです」とご意見をいただきました。医療用テープ使用時のスキントラブルの予防として被膜剤と剝離剤を活用することについて、講義と演習を交えてその効果をお伝えいただきました。

演習は、ブース①外傷の処置(指の切創への対応)、ブース②縫合演習(縫合糸、ステープラ)、ブース③医療用テープと皮膚被膜剤効果体験(軟便シート、コンビーンRセキュアーEの紹介)を行い、外傷と皮膚ケアについての実践的な演習を行うことができました。



ブース① 外傷の処置1 ブース① 外傷の処置2



ブース② 縫合演習1 ブース② 縫合演習2



ブース③ 医療用テープと皮膚被膜剤効果体験1 ブース③ 医療用テープと皮膚被膜剤効果体験2

昨年度「京都在宅医療塾Ⅱ」は、第3木曜日18時～20時で開催してまいりましたが、今年度より、より多くの方に参加していただけるよう隔月で水曜日14時～16時の開催を予定しています。今後の開催についての詳細は、ホームページまたは京都医報をご覧ください。

平成28年度 第1回 京都在宅医療戦略会議 開催報告

平成28年度 地域医療介護総合確保基金を活用した地区医師会在宅医療連携拠点事業一覧

地区医師会	事業名
(一社)京都北医師会 上京東部医師会 (一社)京都市西陣医師会	・北区・上京区三地区医師会在宅医療統合連携拠点事業
(一社)中京東部医師会 中京西部医師会	・中京区在宅医療センター地域連携ネットワーク(地域の地域連携室)
中京西部医師会	・在宅医療に関する臨床研究、地域情報の収集・分析支援事業
(一社)下京西部医師会	・在宅医療・介護介入困難事例への訪問事業 ・認知症を主とする非がん疾患カフェの創設と運営 ・下西診療連携カード(多職種共有化事業)を利用した看取りに特化した土日限定当番医制度 ・在宅医療推進会議の設置運営 ・かかりつけ育成のための研修(プライマリケア教育の会)
(一社)左京医師会	・在宅医療連携推進事業
(一社)右京医師会	・右京医師会 在宅医療推進委員会
(一社)西京医師会	・在宅医療推進協議会設立に向けての病院と在宅医療関係者の会 ・在宅医療に関する区民講座
東山医師会	・医師会と多職種との連絡協議会
(一社)伏見医師会	・第5回伏見医師会地域ケア懇談会
(一社)乙訓医師会	・早期からターミナルケアまで認知症を地域で支えるためのシステム作りを目指す事業
(一社)宇治久世医師会	・医療と介護の連携促進事業
綴喜医師会	・在宅医療推進の基礎固め
(一社)相楽医師会	・在宅医療に対し既存のネットワークを活用した在宅医療連携推進事業
亀岡市医師会	・地域包括ケアにおける医療を核とした多職種連携及び啓発事業
船井医師会	・在宅医療推進事業
綾部医師会	・在宅医療に係る医療連携体制の運営支援及び、住民への啓発活動
(一社)福知山医師会	・勉強会－在宅医療・介護のよりよい連携を求めて－ ・在宅療養における対応困難事例等の検討会
(一社)舞鶴医師会	・在宅医療推進事業
北丹医師会	・在宅医療と介護が一体的に提供される体制構築に向けて ・認知症市民公開講座

平成28年6月29日(水)、府医会館にて23地区医師会(テレビ会議参加:2地区)より26名の担当理事および行政から5名の参加を得て、今年度第1回の「京都在宅医療戦略会議」を開催しました。



議題(司会:角水理事)

1. 地域医療介護総合確保基金を活用した事業について

(1) 地区医師会在宅医療連携拠点事業 ※左記の事業一覧参照
各地区より、今年度の地区医師会在宅医療連携拠点事業の計画をご報告いただきました。①在宅医療に関する相談窓口の設置等拠点の充実化、②医療機関・多職種間、さらには市区町村との連携強化、③市民・区民への啓発等に係る事業一が紹介され、情報交換を行いました。

(2) 京都府在宅医療推進基盤整備事業

今年度の実施が予定されている京都府の「在宅医療推進基盤整備事業」について北川副会長より紹介がありました。質の高い在宅医療の提供に必要な医療機器の購入に対して補助を行うもので、現在は対象の医療機器や申請要項等について京都府と最終調整中であると述べ、詳細が決まり次第改めて周知を行うと説明されました。

(3) 医療情報共有化京都モデル整備事業

情報企画・広報担当の松田理事より、かねてから京都府と検討を重ねてきた「医療情報共有化京都モデル整備事業」として、在宅医療の現場で多職種と情報共有するためのコミュニケーションツール「メディカルケアステーション(以下、MCS)」を導入・整備すると結論に至ったことを報告しました。MCSについての概略とともに、セキュリティや運用コスト、既存の他の情報システムとの親和性について説明があり、地区医師会や関係団体を対象に、8月25日(木)午後2時15分～、府医会館310会議室にて同システムの説明会を開催することを報告しました。

2. 地域医療構想への対応について

(1) 在宅医療への取組み状況アンケート調査結果報告

北川副会長より、平成28年2月から4月にかけて実施した「在宅医療への取組み状況アンケート調査」について、回答数1,579件、73.5%という高い回収率となったことを報告され、各地区医師会のご協力に対して感謝の意を述べられました。

その後、調査結果の概要を解説し、このデータを基に今後の在宅医療の計画を立てていく考えを示しました。

3. 今年度の研修会について

關理事より、今年度の認知症研修を含む在宅医療に関する研修会の日程を紹介しました。

4. 在宅医療啓発パンフレットについて

關理事より、平成27年度の地域ケア委員会において、府民の在宅医療に対する理解の促進を図る啓発ツールとして、「はじめての在宅医療～成人編～」と題したパンフレットを作成したことを紹介しました。

5. <京都市>平成28年度在宅医療・介護連携推進に係る実態調査について
京都市長寿社会部長寿福祉課より、京都市における今後の取組の方向性等を検討していくため、国が示す在宅医療・介護連携推進事業の取組項目のうち、一部の事業に係る現状・ニーズなどについて、市内の在宅医療・介護関係機関・団体を対象としたアンケート調査を実施すると報告がありました。

また、今年度も引き続き、地域ケア会議への参加について各地区医師会にご協力をお願いするとともに、7月中に各区支所から地区医師会に対して事務手続きの流れ等を説明する予定であることが報告されました。